

平成18年12月14日

山武市長 椎 名 千 収 様

松尾地区地域審議会

会 長 佐 瀬 孝 一

意 見 書

松尾地区地域審議会は、平成18年7月21日の発足から3回の会議を開催し、新市のまちづくりに当たっての松尾地区の状況、課題について慎重に審議いたしました。この結果を踏まえ、松尾地区地域審議会として別紙のとおり意見書を提出します。

松尾地区地域審議会意見書

1 JR松尾駅周辺の整備等について

旧松尾町では、駅南側を将来市街地ゾーンと位置付け、駅前整備や公共施設の立地とあわせて拠点地区を形成するとともに、幹線道路沿線に商業サービス施設が立地する複合的な住宅市街地の整備を検討しておりました。

市街地の開発・整備に当たっては、松尾地区の中心拠点機能、文化交流などにより高次の都市機能を整備・誘導していく必要があるとともに、計画的に市街化を進め、良好な居住環境を提供していくことが求められています。

また、県が定める成田国際空港周辺地域における航空機騒音対策基本方針では、長生・山武地方拠点都市地域の交流促進地区として位置付けられているJR松尾駅を中心とする地域の周辺整備を行い、鉄道施設整備事業を皮切りに、駅南側地域の活性化を図ることによって、長生・山武地方の北部地域での拠点性の向上と交流の拡大を目指すとされています。

つきましては、JR松尾駅周辺の整備等を実施することにより、地域の活性化が図られるとともに、将来、山武市の発展に寄与するものと考えられますので、旧松尾町で計画しておりました次の事項について重点的に推進くださるよう提言いたします。

JR松尾駅南側広場を整備し、成田国際空港と連絡する空港シャトルバスが乗入れられるよう停留場を設けること。

JR松尾駅南側から容易に駅が利用できるよう、自由通路又は南側改札口を設けること。

JR松尾駅周辺に公共交通拠点や商業・文化施設を集積させ生活中心機能の充実に努めるとともに、計画的な宅地開発による良好な住宅市街地の整備・誘導に努めること。

2 成田国際空港対策の推進について

松尾地区においては、航空機騒音対策は大きな課題の一つになっており、公共施設における防音施設の整備、テレビ受信障害対策のほか、公共用飛行場

周辺における航空機騒音による障害防止等に関する法律による第1種区域の指定に伴う民家防音工事などの対策を実施しています。

また、平成9年度には成田空港周辺地域共生財団が設立され、第1種区域の隣接地区の防音工事事業や第1種区域内の補完事業が実施されています。

つきましては、旧松尾町で実施しておりました次の事項について、引き続き推進くださるよう提言いたします。

騒音対策区域の拡大と対策事業の充実を引き続き国及び関係機関に要望するとともに、市が実施する騒音対策事業の更なる充実に努めること。

航空機騒音の障害防止に配慮した土地利用を推進すること。

3 地域性を活かした企業の誘致について

少子・高齢化対策、環境問題への対応など重要施策に対処するための財政需要が増大する一方、長引く景気の低迷により大幅な税収の不足が生じており、山武市が更なる地方分権に対応していくには、税収の確保及び地域経済の活性化を図る必要があります。

松尾地区における工業団地は、松尾工業団地、松尾台工業団地があり、既に企業立地が図られておりますが、今後、広域交通基盤の整備や成田国際空港の機能拡充に対応した土地利用を進めていくことが必要であり、新たな工業団地の整備とともに、松尾・横芝インターチェンジの波及効果を最大限に活かす拠点整備が課題となります。

つきましては、松尾・横芝インターチェンジを中心とした豊岡地域を工業ゾーンと位置付けし、企業の誘致を推進くださるよう提言いたします。